

令和 6年 6月20日

広域振興局長

提出者 国立大学法人岩手大学

住所 〒020-8550

岩手県盛岡市上田三丁目18-8

氏名 学長 小川 智

（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	国立大学法人岩手大学	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県盛岡市上田三丁目18-8	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3,885 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	47 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

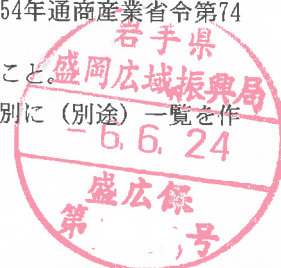
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
上田団地	〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8	3,413 kℓ
加賀野団地	〒020-0807 盛岡市加賀野二丁目6-1	208 kℓ
東安庭団地	〒020-0824 盛岡市東安庭三丁目4-20	50 kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。

(A4)



2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合の記載欄

[illegible]

別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(2023) 年度												
		エネルギーの使用量				販売したエネルギー使用量				E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二 酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	
		数値 A	単位 B	数値 C	単位 D									
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL		kL									
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL									
	揮発油(ガソリン)	31.00	kL	1,035	kL	1,035	71	70						
	ナフサ		kL		kL									
	ジェット燃料		kL		kL									
	灯油	57.00	kL	2,081	kL	2,081	143	169						
	軽油	30.00	kL	1,140	kL	1,140	79	83						
	A重油	87.00	kL	3,384	kL	3,384	239	252						
	B・C重油		kL		kL									
	石油アスファルト		t		t									
	石油コークス		t		t									
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	3.00	t	150	t	150	9	9					
		石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³								
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t								
		その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³								
	石炭	輸入原料炭		t		t								
		原料炭		t		t								
		コークス用原料炭		t		t								
		吹込用原料炭		t		t								
		一般炭		t		t								
		輸入一般炭		t		t								
		国産一般炭		t		t								
		輸入無煙炭		t		t								
	石炭コークス		t		t									
	コールタール		t		t									
コークス炉ガス		千m ³		千m ³										
高炉ガス		千m ³		千m ³										
発電用高炉ガス		千m ³		千m ³										
転炉ガス		千m ³		千m ³										
	都市ガス	669.00	千m ³	30,105	千m ³	30,105	1,534	1,618						
	その他の燃料()													
	()													
非化石燃料	黒液		t		t									
	木材		t		t									
	木質廃材		t		t									
	バイオエタノール		kL		kL									
	バイオディーゼル		kL		kL									
	バイオガス		千m ³		千m ³									
	その他バイオマス		t		t									
	RDF		t		GJ/t									
	RPP		t		GJ/t									
	廃タイヤ		t		GJ/t									
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t									
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t									
	廃油		kL		GJ/kL									
	廃棄物ガス		千m ³		千m ³									
	混合廃材		t		t									
	水素		t		t									
	アンモニア		t		t									
		その他燃料()												
	小 計 ①							37,896	2,076	2,201				
	熱	産業用蒸気		GJ		GJ								
産業用以外の蒸気			GJ		GJ									
温水			GJ		GJ									
冷水			GJ		GJ									
地熱			GJ		GJ									
温泉熱			GJ		GJ									
太陽熱			GJ		GJ									
雪氷熱			GJ		GJ									
小 計 ②														
電気		電気事業者①	13,041.00	千kWh	112,674	千kWh	112,674	6,142	6,273					
	電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh		千kWh									
	自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh									
	太陽光		千kWh		千kWh									
	水力		千kWh		千kWh									
	風力		千kWh		千kWh									
	その他		千kWh		千kWh									
小 計 ③						112,674	6,142	6,273						
合 計 ④=①+②+③						150,570	8,217	8,474						

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	3,885	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素 上記以外の二酸化炭素	8,217	t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
合 計		8,217	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

大学全体のCO2排出量を前年度比(2022年度)で1%削減する目標に対し、3%削減した。

【具体的な取組状況】

- ① 光熱水量(電気・水道・ガス等)の使用量を学内電子掲示板に掲示。
- ② 空調機の使用は必要最低限とし、室温設定(冷房時28℃、暖房時は19℃)の最適化。
- ③ 昼休み時及び不要箇所の照明器具消灯。
- ④ パソコンの省電力設定。
- ⑤ シーズン前に空調機のフィルター清掃。
- ⑥ 建物改修時、サッシ等へのペアガラス使用、照明器具のLED化・センサー制御の導入。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ① ゴミの分別回収を徹底。
- ② 会議等でのペーパーレス化・コピーの裏紙使用による紙使用量の削減。
- ③ 節水型水道設備の設置。

別紙 その3（自動車用）
1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量（年度）					
自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	37 (1)	28,972 ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	66,350 kg-CO ₂	
軽油	10 ()	3,050 ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	7,989 kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.477 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	47 (1)			74,339 kg-CO ₂	

備考 1 保有台数欄の（ ）には、ハイブリッド車の台数（内数）を記載してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令（平成11年政令第143号）の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】
大学全体のCO2排出量を前年度比(2022年度)で1%削減する目標に対し、1.6%削減した。

【具体的な取組状況】
アイドリングストップの実施、急発進及び急加速をしない等のエコドライブ。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項